

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千種 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 水野民也

No.22 (1982~1983)

MANKIND IS ONE-
Build Bridges of Friendship
Throughout the World

人類はひとつ
世界中に友情の橋をかけよう
1982~83年度RI会長 向笠広次

第22回例会 昭和58年1月18日(火) 晴

——ガバナー公式訪問——

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 45名 出席 37名

出席率 82.22%

◇ 前回 1月11日 (修正出席率) 95.56%

make up

古川君(1/13西), 河合君(1/13東南), 水野(賀)君(1/13瑞穂)

◇ ビジター紹介 6名

◇ ニコボックス

第260地区ガバナー大隈君, 尾張第1分区代理相羽君(公式訪問にあたって), 水野(民)君(ガバナー公式訪問が無事終了しますように), 水野(賀)君(1月ゴルフ会優勝しました), 鶴飼君(第7回明治神宮奉水彫刻大会に優勝と4位入賞しました), 河合君, 小林君, 日下君, 宮尾君, 笹野君, 鈴木(正)君, 和田君(入会祝)

◇ 松居幹事報告

1. 本日例会終了後, クラブアセンブリーを行いますので理事役員, 正副委員長の方は牡丹の間にお集り下さい。
2. 次回例会終了後, 理事会を行いますので理事役員の方はお残り下さい。

◇ 水野(民)会長挨拶

第22会の例会を, 大隈ガバナー, 相羽分区代理, 余語特別代表を迎え, 当クラブとして第1回目の公式訪問をうけるわけでございます。

私を始め, 各役員, 理事, 各委員長共々緊張しておりますので, 宜しく御指導の程お願い致します。今日は, 昨日カナダからお帰りになったばかりのガバナーと, 体の方も復調なさいました分区代理をお迎えした訳ですが, 私がRCへ入会して最切の頃は, ガバナーは地区内のただ一人の神様に近いお方であると思ひ, お言葉を拳々服膺せねばならぬと

思ったものでしたが, 20余年を経てみると, 私も多少凶々しくなり, 気易くお話をしたりして, 誠に申訳なく存している次第です。昭和38年, 東RCで幹事をいたしております時は, ガバナーは内藤卯三郎先生で, 内藤先生の頃は, ガバナーは事務所も自宅であり, 外国からの文書の返信は凡て奥様とお嬢様でなされたときいております。白髪温顔のガバナーも全く大変なことだと敬服いたしておりました。私が東RCで会長をいたしておりました時のガバナーは, 常滑の田辺三郎氏で, 職業奉仕には非常にご熱心で, リーチアウトのRIの方針の歌をエーデルワイスの曲で歌わせられたのを思い出します。さて地区ガバナーとは

- (1) 地区内の名誉会長以外の欠陥のない会員であること。
- (2) 職業分類の正当性に疑問があってはならない。
- (3) GNとして推選される前の年の最終日にRIに対して負債残高をもっていない。完全無欠なRCの有資格会員でなくてはならない。
- (4) ガバナーに就任する時点で7年以上会員でなくてはならない。
- (5) RCの会長を全期勤めたものでなくてはならない。
- (6) ガバナーとしての責任を果たす意志と, 健康的に果すことが出来るものでなくてはならない。
- (7) ガバナーに選挙される直前の国際協議会に全期間出席して, 7月1日までに地区に戻らねばならない。
そしてガバナーの任務は, 地区に於けるRIの唯一人の役員である。そして,
(1) 新RCの結成を指導, 監督する。
(2) 既存RCの強化助成。

- (3) 地区内RCの相互の友好とRIとの友好関係の促進。
- (4) 地区大会、地区協議会の主宰。
- (5) できるだけ早い機会に地区内RCの訪問。
- (6) 地区内RCへのGOVERNOR'S LETTERの発行。
- (7) RIへの諸報告。
- (8) 次期ガバナーへの指導。
- (9) 地区保存書類の引つき。
- (10) 地区に於けるRI役員としての任務の遂行。

などと、とても大変な役でございます。そしてガバナーが終了し、パストガバナーと知られてからは、地区のあらゆる会合のリーダーとしてまた講師としての仕事がひかえており、地区の訪問委員会、また各種の委員長として残ってからも大変でございます。ロータリーの奉仕の象徴がガバナーであろうと感謝申し上げるとともに、ガバナーと分区代理のご健康、ご多幸を祈り、会長のご挨拶といたします。

◇第260地区大隈孝一ガバナー講話

一言御挨拶を申し上げます。この前、当クラブのチャーターナイトの時お伺いし、皆様にお目にかかった事がございます。当クラブは、私の任期中にできた唯一のクラブである



と思います。新しくできたクラブとしては次々に新入会員がお入りになり、非常に活発な動きをしておられる。又お互いに仲良くなり、次の年の前進を目ざして、準備しておられる姿は理想的で、将来は当地区内で最も有力で活発なクラブになるのではないかと感じております。

現在、日本も高度成長の時代は終り、複雑な時代に入ってきたと思われれます。今や、これだけ国際化が進むと、一つの問題でも沢山の原因があって非常に難しくなっております。我々のロータリークラブの活動においても、これからはもう少し考える余地があるのではないかと考えます。勿論ロータリークラブの“奉仕の精神—友情とか思いやり”は守らねばならないが、実際に運営する場合は世の中の変化をとり入れなければならないと考えます。今までより簡素に、又お互いの時間を大事に使う配慮が必要だと痛切に感じます。

もう一つは、時代の変化と共にロータリークラブの活動を見直す必要があると思います。社会奉仕にしても、職業奉仕にしても、

今までと同じやり方で、果たして我々が考えているような成果が上がっているでしょうか。今の時代は、物とか金を増やすよりも、むしろ暖かい心とか、思いやりが要求されるのではないかと思います。

今、世界では、150カ国に90万人のロータリアンがいます。これだけ善意と友情を持った人が世界中にいるという事は、大変大きな力になると思います。今年のRI会長のテーマは“人類は一つ”ですが、非常に沢山の国があり、考え方も違うので、まだまだ国際的な相互理解は極めて不十分です。国際的な活動の中で、ロータリークラブが役に立つ事は相当あると思います。

当クラブは私の最も印象の深い、懐かしいクラブであります。これから先、新しいロータリークラブの理想の姿となられ、清々しいクラブになられるよう期待しております。

◇クラブアセンブリー

例会終了後、大隈孝一ガバナー、相羽尾張分区代理の御指導のもとにクラブアセンブリーが開かれました。当初、緊張した面持ちの各理事役員・正副委員長も、終始なごやかな大隈ガバナーの応待にすっかり落ち着きを取り戻し、活発な意見、質問なども出て滞りなく終了させることができました。



◇第3回ゴルフ会奮闘記

新春の初打ちを競うわが第3回ゴルフ会は1月12日三好カントリー西コースで挙行。その精鋭は8名。数はともかく大会長杯を目指し、寒風をついて右の山、左の崖下と白球を追うさまは正に意気軒昂。



プロ並みに1番アイアンからオールアイアンを巧みにあやつりドラコン、ニヤピンをもぎとった名手林君。初参加、最多ハンデながら堂々バーデーをとるなど猛打賞の和田君。しかし何といってもその華麗な安定したショットと飛距離のすばらしさで水野賀緒君が優勝、ベストグロ賞などかかえきれないほどの賞品を獲得してニコニコ顔であった。

なお、今回は2月4日愛知カントリー（東山）の予定ですので、どしどし参加して下さい。（ゴルフ会幹事 浜口龍男）

◇第3回ゴルフ会成績

R	NAME	H'cp	NET
優勝	水野賀緒	46	43 89 13 76
2位	林 淳三	50	46 96 18 78
3位	菅原宣彦	46	50 96 18 78
4位	成田良治	59	54 113 28 85
5位	新美 敢	61	56 117 27 90
B. B	松居敬二	58	50 108 10 98

◇'82~'83年度上半期例会平均出席率（個人別）
（'82年8月~12月までの19meetings）

会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	欠席	合計	出席率 (%)
秋 山 茂 則	12	3	0	15	79.5 (100)
青 山 敏 郎	10	5	0	15	79.5 (100)
安 藤 銀之助	12	2	0	14	74.2 (108)
深 見 章	10	5	0	15	79.5 (100)
古 川 勝 巳	17	3	0	20	106
浜 口 龍 男	19	1	0	20	106
橋 木 義 郎	15	5	0	20	106
林 淳 三	17	4	0	21	111.3
樋 田 勝 三	13	1	0	14	74.2 (108)
堀 場 利 幹	11	1	0	12	63.6 (100)
石 田 耕 嗣	19	1	0	20	106
加 藤 正 義	13	3	3	16	84.8
加 藤 大 豊	15	4	0	19	100
加 藤 敏 昌	16	2	1	18	95.4
加 藤 保 三	13	6	0	19	100
河 合 美 雄	4	1	0	5	26.5 (100)
菊 池 昭 元	19	0	0	19	100
黒 野 貞 夫	9	5	0	14	74.2 (108)
黒 須 一 夫	17	2	0	19	100
日 下 貴 博	13	3	0	16	84.8 (108)
松 居 敬 二	18	2	0	20	106

三 輪 康	19	1	0	20	106
水 野 民 也	18	5	0	23	121.9
水 野 賀 統	17	2	0	19	100
成 田 良 治	16	4	0	20	106
新 美 敢	17	1	1	18	95.4
西 川 豊 長	12	1	0	13	68.9 (100)
大 口 弘 和	11	3	0	14	74.2 (108)
斉 藤 康 二	13	3	0	16	84.8 (107)
佐 野 寛	19	0	0	19	100
菅 原 宣 彦	14	5	0	19	100
杉 山 貞 男	16	4	0	20	106
鈴 木 猛	13	6	0	19	100
竹 内 眞 三	19	1	0	20	106
谷 口 暢 宏	17	3	0	20	106
寺 沢 竹三郎	18	2	0	20	106
都 築 勝 彦	8	3	0	11	58.3 (100)
鶴 飼 一 男	12	2	0	14	74.2 (108)
和 田 正 敏	5	0	0	5	26.5 (100)
山 村 誠 二	12	2	6	14	74.2

注) () = 中途入会員の実際出席率

◎上半期ホームクラブ100%出席者

浜口龍男君 石田耕嗣君 菊池昭元君 三輪康君 佐野寛君

◇尾張第一分区 I. G. F. 開催間近

ミー・イズムからニュー・イズムへ
一奉仕の原点を考える集いー

時 58.2.11 (金) 建国記念日

所 ホテル・ナゴヤキャッスル 青雲の間
ホスト 名古屋和合ロータリークラブ

間もなく、下期最大行事インターシティ・ゼネラルフォーラムの開催です。参加申し込みの会員の方々はお忘れなきよう御出席下さい。

参加申し込み会員名

秋山君、青山君、古川君、樋田君、石田君、加藤(大)君、菊池君、黒須君、松居君、三輪君、水野(民)君、新美君、斉藤君、菅原君、杉山君、竹内君、谷口君、和田君、山村君

◇6カ月を振り返りて

尾張第一分区代理相羽鋳一君

早いもので、今年度も半年を暮れようとしています。大隈ガバナー、伊藤地区幹事、ガバナー事務所の皆さんの適切なご指導を受けつつ尾張第一分区18クラブの事前訪問と17クラブの公式訪問のお伴をさせていただきました

た。人それぞれの人格が異なる如く、クラブにおいてもテリトリーの環境、会員の大小、年齢差、会長、幹事の運営方針により、千差万別といえます。尾張第一分区は、8月16日に創立された名古屋千種ロータリークラブを加えて19クラブとなり、分区としては大世帯となりました。しかし、260地区88クラブを公式訪問される大隈ガバナーのご苦勞を思えばたやすいことです。大隈ガバナーのハードなスケジュールにご協力申し上げるため、私も微力ながら事前訪問を綿密にして、そのクラブの内容を把握し、正確な報告書を作るべく努力をしています。

クラブには、国際奉仕を得意とするクラブ、地域と密着して社会奉仕を優先しているクラブ、青少年奉仕こそ其の奉仕活動であると強調しているクラブ、クラブ奉仕こそがロータリーの真髄であるとするクラブ等、各クラブの特性を生かし、能力に応じて奉仕の理想を実現しようとロータリーの原点に立って努力されている姿に接し、非常に喜ばしいことです。また、いろいろな職業の人とじかに接し、ポール・ハリスのいう「思考と行動」こそ大切であることを痛切に感じた次第であります。しかし、その中で一番嬉しいことは、新クラブの誕生であります。

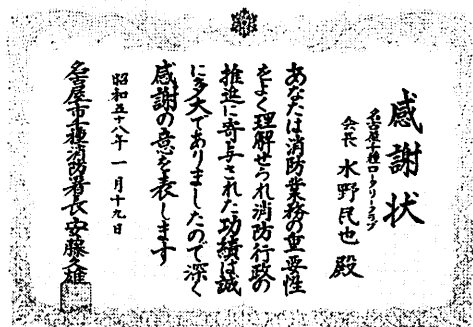
新クラブへは、水野民也さんと鈴木猛さんの二人が東クラブから移籍されることに決定し、いよいよ新クラブ創立に向けて、正式に第一歩を踏み出したのであります。以後、水野さんは、特別代表の余語さん、ガバナーエイドの山田さん、及び石塚会長さん、伴幹事さん、及び分区代理の私達と綿密なる連絡をとりつつ、会員候補者の選考に全力を集中されました。勿論、水野さんは千種区内の有力者であり、ロータリアンとしても佐藤P.G.の時代に地区幹事を経験されたほどのベテランであります。創立準備も着々と進み、8月16日には大隈ガバナーをはじめ多くの来賓の祝福を受けつつ、26名のチャーターメンバーをもって創立総会が開催され、感激も一入で

した。更に10月19日には、1,000名に及ぶロータリアンの祝福の裡に愛知厚生年金会館の大ホールに於て挙行された認証状伝達式は、過去最大のメインイベントであったと申し上げても過言ではありません。

私の分区代理としての任務でありますクラブ事前訪問も17クラブが終り、残る2クラブの訪問と、2月11日のI.G.F.に向けて心を燃やしています。

最後に、訪問するたびに皆様の温かい心に接し、「他人への思いやり」こそ奉仕への道だと感じました。人間は民族・宗教を越え、幸せを乞い願い、その幸せの輪を広げていくためにも多勢のロータリアンと今こそ手をとり合って微力ながら努力し、向笠会長のいわれる「人類はひとつ、世界中に友情の橋をかけよう」のスローガンと、大隈ガバナーのお考えである、時代に呼応した活動・地域・クラブの特性を生かしたロータリー活動のために、残りの任期を頑張りたいと思います。

(ガバナーズレターより)



1月19日、千種消防署より感謝状と記念品をいただきました。

◇次回例会（1月25日）

卓話 “書道あれこれ”

会員 黒野貞男 君

“人生は夢の実現”

会員 日下貴博 君

会合 理事役員会